

# 水道局 平成25年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

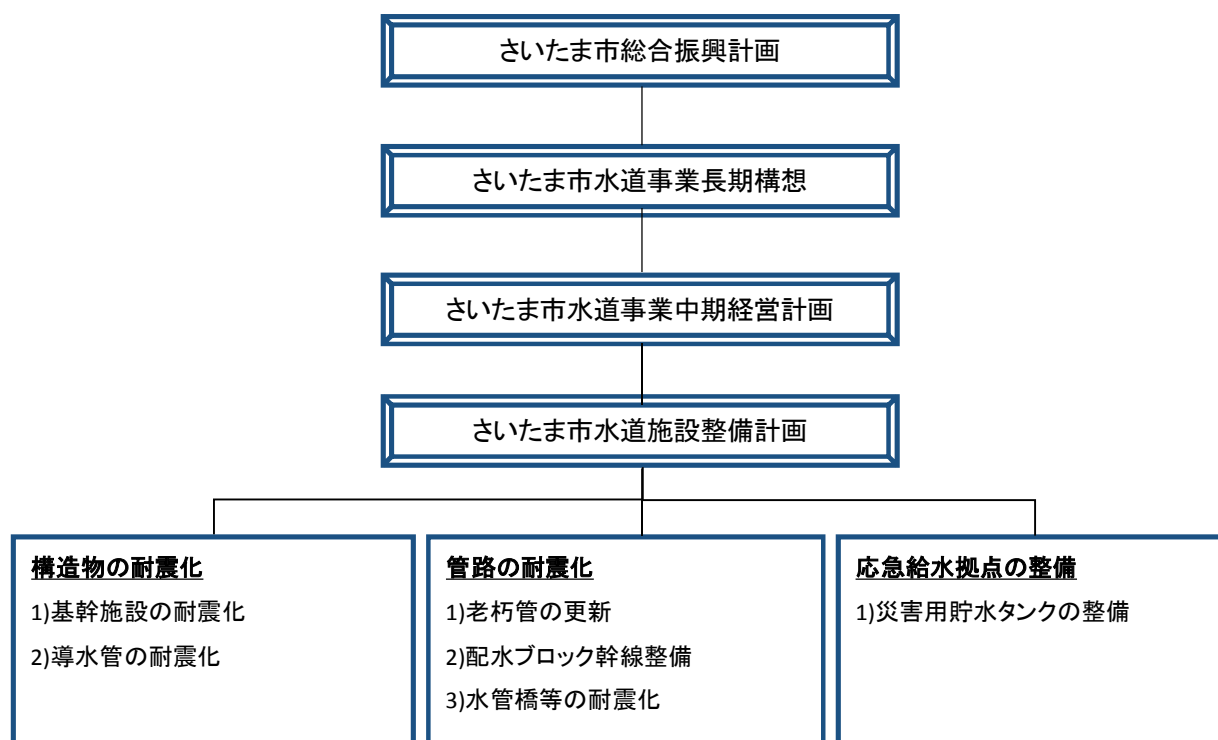
水道事業では、昭和40年代から50年代にかけて建設した多くの水道施設の老朽化が進み、この老朽施設の大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズを反映したサービス水準の向上も必要となっています。

一方、これら事業の財源となる水道料金収入は近年減少傾向にあり、財源の確保が課題となっています。

このような状況から、現行水道料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、平成22年度に策定した「さいたま市水道事業中期経営計画(平成23年度～27年度)」に基づき、効率的な事業運営に努めていきます。

(1) 重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水の確保を図るため、水道施設整備事業では、「地下水源整備事業」、「拠点施設整備事業」、「配水ブロック整備事業」、「配水支管整備事業」、「老朽管更新事業」、「耐震化事業」を推進しています。

水道施設の耐震化に係る事業は、老朽管更新等による管路の耐震化を含めると施設整備事業全体の多くを占めています。



(2) さいたま市公金収納オンライン化基本方針に沿って、上下水道料金のクレジットカード決済制度を導入し、お客様サービスの向上を図ります。

【水道局への要望】

① クレジットカード払い要望件数

H23年度 2,582件

H22年度 2,708件

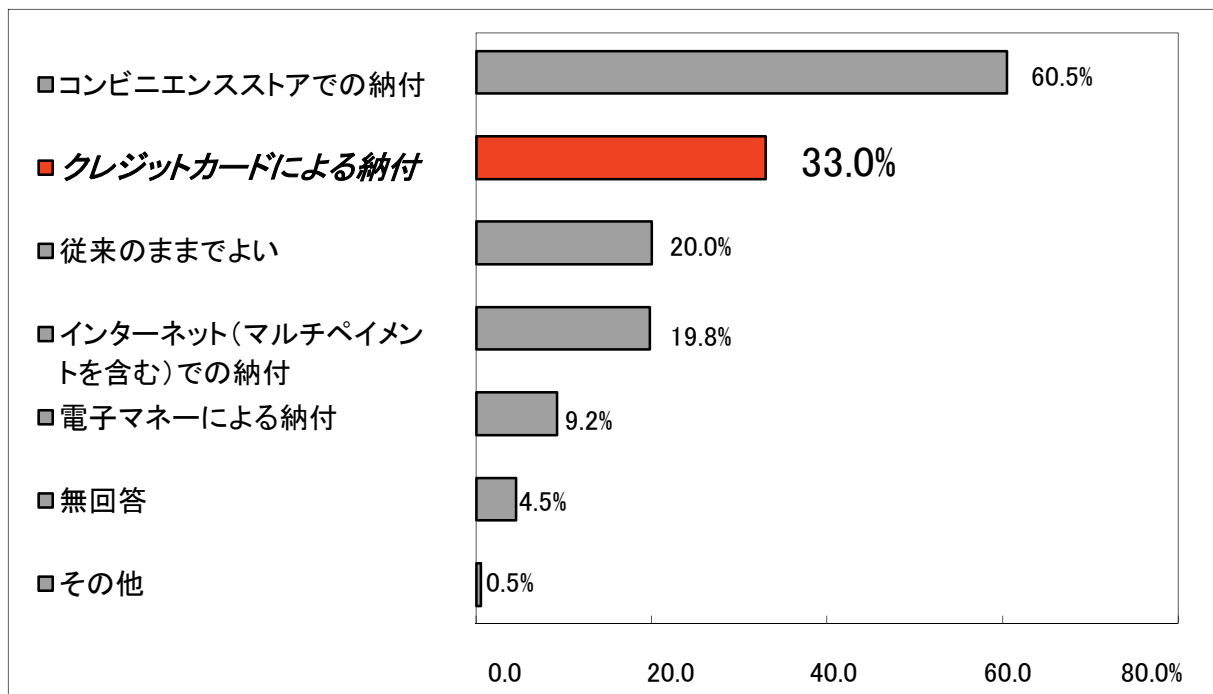
H21年度 2,664件

② 理由

・さいたま市に転入してきたが、東京都や横浜市の水道局で利用できたクレジットカード決済が利用できない。

・他の公共料金(電気・ガス・電話・NHK)では実施済みである。

○平成23年度市民意識調査(利便性が高まる納付方法の要望調査 ※サンプル数2,898)



※本市水道局では、コンビニエンスストアでの納付は平成4年7月から実施済みである。

## 2. 基本方針・施策体系別主要事業

安全安心な水道水を安定して供給するため、既存施設の計画的、効率的な改良更新を行うことはもとより、濁水や地震等災害時に強い、信頼性の高い水道を目指します。

また、水道に対する多様化するニーズを反映した、質の高い給水サービスを提供します。

(1) 水道施設の改良・更新に併せ、耐震化を進めます。

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
1	総	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	8,693,374	8,429,660	水の安定的な供給を図るための施設整備の推進

(2) 上下水道料金のクレジットカード決済制度を導入し、お客様サービスの向上を図ります。

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
2	新	上下水道料金支払方法 の拡充 〔営業課〕	38,047	0	クレジットカード決済制度の導入

## 3. 行財政改革への取組

(1) 計画的な施設整備の推進

- ① 今後、水需要の増加が期待できない一方で、水道施設整備事業には多額の財政需要が見込まれることから、中長期的な財政収支見通しに基づく計画的な施設整備を推進していきます。

特に、事業の財政基盤を長期的に安定させるため、借入金である企業債の残高縮減に努め将来の金利負担の軽減を図ることで、更なる事業経営の健全化に努めます。

〔水道財務課・水道計画課〕

(2) 事業の見直しによる経費の削減

- ① 各科目について内容を精査し事業費を削減しました。

〔経営企画課ほか〕 (8,310千円)